

研究種目：若手研究(A)

研究期間：2007～2010

課題番号：19682003

研究課題名(和文) 島嶼地域における先史時代墓制の系譜

研究課題名(英文) The origin of Prehistoric burials in the Islands

研究代表者

新里 貴之 (SHINZATO TAKAYUKI)

鹿児島大学・埋蔵文化財調査室・助教

研究者番号：40325759

研究代表者の専門分野：南西諸島の考古学

科研費の分科・細目：史学・考古学

キーワード：南西諸島・先史時代・葬墓制・系譜・墓構造・交流

## 1. 研究計画の概要

南西諸島の先史時代葬墓制研究は、1980年代以降、ほとんど進展していなかった。そのため、これまでの研究状況を整理し、葬墓制の研究を行なうことにした。また、新たに発掘調査を行なうことによって、遺構把握の難しい砂丘遺跡の調査方法の確立、葬墓制の分析、自然科学分析の応用によって、葬墓制研究を進展させるために、本研究を開始した。研究計画の柱は下記の3つになる。

## 1) 実施調査

- ① 地中レーダー探査
- ② 発掘調査(考古学的調査)

## 2) 整理作業・研究

- ① 発掘遺構・遺物の整理, 研究
- ② 自然科学分析
- ③ 他地域との比較研究

## 3) 研究報告・一般化

- ① 学会・論文発表
- ② シンポジウム開催

## 2. 研究の進捗状況

上記1) ①については、地中レーダー探査が砂丘遺跡においても有効性を発揮することを確認した。しかし、遺構の特定には発掘を行なう必要があり(一部畑地造成の際の掘り起こされた土壌塊にレーダーが反応した部分があった)。その相互調査によって砂丘地域における遺構認定の分析パターンを作ることができると考えられた(平成19年度)。②については、鹿児島県徳之島トマチン遺跡の発掘調査を行ない、これまでに確認されたことのない構造の石棺墓を研究することになり、乾湿両用の掃除機を使った検出方法や写真測量など調査方法の確立も軌道にのせることができた。また、これまでに南西諸島で確認されていない平積みで構築された石棺、全国的に類例のない三段の重層構造をもつことなど、同遺跡の著しい特性を抽出することができた(

平成19・20年度)。②については、平成19年度より現在も継続中であり、平成22年度報告書作成前に終了する。③については、遺物の石材分析、ウォーター・フローテーションによる植物遺体の抽出、動物遺体の同定、土器の胎土分析、人骨の埋葬法の復元、形質人類学的調査、分子(DNA)人類学による起源の問題、炭素・窒素安定同位体分析による食性の復元などを行なっており(平成19～21年度)、平成22年度には、上記分析の不足分や、放射性炭素年代測定、ガラス玉の分析などを予定している。③は現在、日本・朝鮮半島・台湾(平成21年度)の文献比較調査はほぼ終了している。

③) ①はこれまでも発掘調査成果などを各学会で逐次公表してきた(平成19～21年度)。②については、地元への社会的還元を目指すだけでなく、遺跡保護意識の啓発も企図するため、発掘調査を行なった地元である徳之島伊仙町で、考古学・自然科学を含めた総合的シンポジウムを開催した(平成21年度)。

## 3. 現在までの達成度

## ② おおむね順調に進展

実地調査である伊豆・小笠原、壱岐・対馬の踏査のみが天候不良や調査期間の関係により、先送りとなっている。

自然科学分析については、一部の分析はまだ行っていない。

その他の項目については順調に進展している。

## 4. 今後の研究の推進方策

場合によって、伊豆・小笠原、壱岐・対馬の踏査は、文献調査で終了する。

自然科学分析は、各研究機関、研究者と協議の上、進めていく。

5. 代表的な研究成果

〔雑誌論文〕(計23件)

- ①新里貴之，南西諸島における先史時代の墓制(Ⅱ)，地域政策科学研究，7，2010年，71-90頁，査読有
- ②新里貴之，貝塚後期文化と弥生文化，弥生時代の考古学1：弥生文化の輪郭，同成社，2009年，148-164頁，査読無
- ③新里貴之，喜念・佐弁砂丘遺跡群トマチン遺跡発掘調査概要報告，人類史研究，14，2008年，13-28頁，査読有

〔学会発表〕(計17件)

- ①新里貴之，トマチン遺跡の墓，徳之島トマチン遺跡シンポジウム，2009年11月21日，鹿児島
- ②新里貴之・竹中正巳ほか2名，鹿児島県徳之島トマチン遺跡の考古学的見地，第62回日本人類学会，2008年11月1～2日；愛知
- ③新里貴之，喜念・佐弁砂丘遺跡群トマチン遺跡の発掘調査，日本考古学協会第74回総会，2008年5月24～25日；神奈川

〔その他〕

第30回沖縄研究奨励賞受賞 2009年1月